

ASSET事業概要

ASSET事業は、先進的で高効率な低炭素機器の導入に取り組む事業者が、当該機器の導入等を加味した適切なCO2排出削減目標を掲げ、その目標達成を約束し、低炭素機器の導入と併せて事業所における運用改善の取組も行いつつ、本事業の参加者全体で排出枠の調整を行うことで事業全体として確実な排出削減を担保し、CO2排出量を効率的に大幅削減することを目的としているものです。

電気代が高くなったけど
設備更新ができない…



高効率設備の
情報は少なく、
高コスト

環境省



店舗や工場で
目標を立てて
削減する取組
を支援します。

事業者



大幅削減の
目標達成
(クレジットの
活用等を含む)

L2-Tech
認証製品
リスト一覧

- ガスエンジンヒートポンプ
- 店舗・オフィス用エアコン
- 温水・蒸気ボイラ
- LED照明器具
など



創意工夫

対象設備の導入補助
(採択基準: 削減の費用対効果)
“リバースオークション”

費用を抑えて大幅削減するぞ!

ASSET事業の特徴

- ①L2-Tech認証製品の導入、②その他低炭素機器の導入、③運用改善等という3つの取組を適切に組み合わせて目標を設定

先進対策

L2-Tech認証製品(産業・業務(業種共通))の導入 = 大幅なCO2削減効果が期待できる!

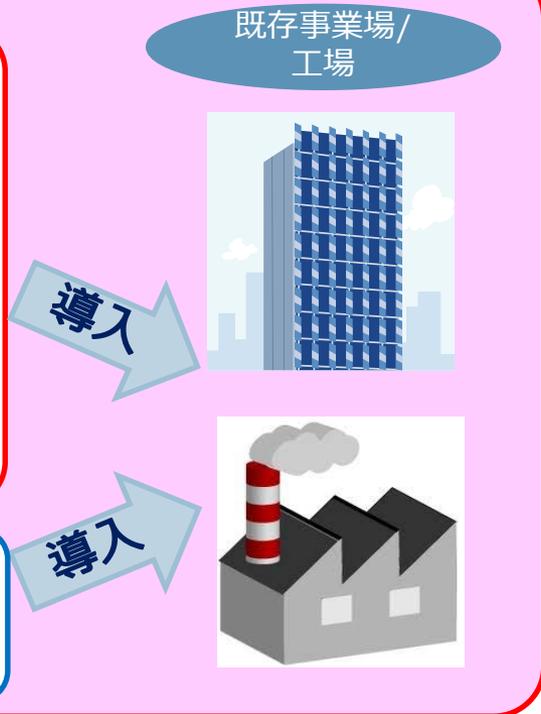
- ✓ ガスヒートポンプ
- ✓ パッケージエアコン
- ✓ ターボ冷凍機
- ✓ 吸着式冷凍機
- ✓ 高温水ヒートポンプ
- ✓ ヒートポンプ給湯器



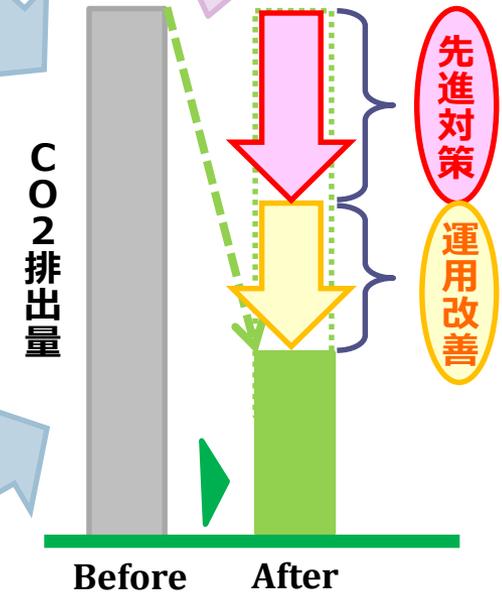
Etc....

※2016年度夏版・2016年度冬版が対象

上記のL2-Tech認証製品以外のCO2削減に繋がる機器の導入 = L2-Tech認証製品と組み合わせることによって更なるCO2削減効果が期待できる!



大幅排出削減を実現!
1トンの削減に必要な事業費の小さい額から採用することで、費用効率的な削減対策を選出



運用改善

例1



見える化機器などの活用

例2



削減ポテンシャルの見直し、排出権削減に対する従業員やテナントの意識向上

例3



補助金を活用しない自主的な省CO2対策

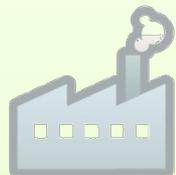
成果報酬



削減約束量を上回る削減を達成した場合、他の制度参加者へ売却できる排出枠を付与

事業実施の考え方

ASSET事業によるCO2排出削減



工場



事業場

先進対策によるCO2削減

既存設備の更新

(理由)設備の老朽化
設備の効率改善
etc...

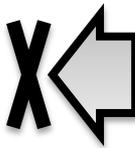
運用改善によるCO2削減

- ✓ 見える化機器の活用
- ✓ 消耗品交換
- ✓ 従業員の意識向上
etc...

補助
対象

補助
対象

補助
対象外



L2-Tech認証製品

- ✓ パッケージエアコン
- ✓ 温水機・蒸気ボイラ
- ✓ 潜熱回収型給湯器
- ✓ コージェネレーション
- ✓ ガスヒートポンプ
- ✓ LED照明器具
など



※上記機器を最低1つ含む必要有り

L2-Tech認証製品以外の CO2排出削減効果がある機器

- ✓ 同種機器への更新
- ✓ 既存機能代替の別種機器への更新

環境省指定機器以外の CO2排出削減効果がある機器

- ✓ 機器の新規導入
- ✓ 既存機能代替でない別種機器への更新

CO2排出削減効果のない機器

先進対策と運用改善により

既存事業場における削減ポテンシャルを十分に活用し、CO2排出量大幅削減を実現する。

ASSET事業 実施の考え方(事業の流れ)

STEP1

CO2排出削減目標量の設定

CO2削減効果のある機器等

補助対象

① L2-Tech認証製品

- ガスヒートポンプ
- パッケージエアコン
- ターボ冷凍機
など (2016夏・冬が対象)

※最低1つを含む必要

② その他の機器

※①の本体価格と同額を限度

- 同種機器への更新
- 既存機能代替の別機種への更新
- 既存機能代替でない別機種への更新
- 機器の新規導入

③ 運用改善

- 見える化機器の活用
- フィルターの交換
- 設備の断熱対策強化
- 従業員の意識向上
などの創意工夫

※L2-TechのBEMSは①に含む。

STEP2

採択審査  リバースオークションに費用効率性(次式で算出)の優れた提案から順に採択
ただし、同種のL2-Tech認証製品を活用する事業の採択は全体で3件を限度

$$\text{費用効率性} = \frac{\text{補助金対象事業費}}{\text{CO2排出削減目標量(①+②+③)} \times \text{導入設備の法定耐用年数}}$$

STEP3

補助事業採択／交付申請

STEP4

CO2排出削減目標の達成のための取組  STEP1の目標を順守

STEP5

事業参加者間でのCO2排出枠取引の実施(それでも目標未達の場合、補助金返還)

STEP6

L2-Tech認証製品の導入成果等の報告及びCO2排出削減努力の継続  導入成果を公表